

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム

-振り返り通信 第2号

- 3/27（木）にムトスぶらざにて、飯田・リニア駅前広場プラットフォームの第2回会議を開催しました
- 第1回会議（11/25開催）の振り返りや、事務局からの情報共有の他、来場者の皆さまに、「賑わい創出に向けた施設整備及び広場活用について」をテーマに、討議いただきました

飯田・リニア駅前広場プラットフォームとは…

- 飯田・リニア駅前広場プラットフォームとは、市民や地元事業者等の多様な関係者が自由に参加し、飯田・リニア駅内での管理運営事業体の設立・運営に向けた議論の他、飯田・リニア駅を中心とした飯田・下伊那地域の活性化に寄与する取組の創出を促す「エコシステム」の形成を目指す組織です

第2回会議 開催概要

日時	2025年 3月27日（木）17時～19時20分		
会場	ムトスぶらざ		
参加者数	約60名		
主な プログラム	情報共有 パート	1. 第1回会議の振り返り、本日のワークショップの進め方（NTTデータ経営研究所より） 2. 飯田・リニア駅前広場の一部供用開始に向けて（飯田市より） 3. 質疑応答	
	ワークショップ パート	4. 賑わい創出に向けた施設整備及び広場活用について（特に、リニア駅前広場に必要“ハードウェア”について考える）	

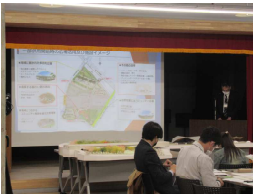
第2回会議の様子

情報共有パート

NTTデータ経営研究所より、飯田・リニア駅前広場プラットフォーム第1回会議で参加者の皆さまから頂いた意見・アイデア等についてご紹介するとともに、今後のプラットフォームの進め方等についてもご説明いたしました



飯田市リニア整備課より、リニア駅前広場に関する検討経緯や整備方針、一部供用開始に向けたインフラ整備や賑わい創出施設建設想定エリアについて、情報共有いたしました



ワークショップパート

ご来場の皆様に6グループに分かれていただき、「賑わい創出に向けた施設整備及び広場活用について」をテーマに、広場の活用や事業・サービスの展開に際して必要となるハードウェアについて議論しました



- ワークショップパートでは、「賑わい創出に向けた施設整備及び広場活用について」をテーマとし、広場の活用や事業・サービスの展開に際して必要となる建物・設備等（ハードウェア）について、6グループに分かれて討議を実施しました。今回示されたアイデアも踏まえながら、具体化に向けた検討を進めてまいります

ワークショップの概要

- 参加者の皆様には、参加者それぞれの立場（市民の立場、事業者の立場）から、飯田・リニア駅前広場の活用、展開していく事業やサービスと、その際必要となる建物・設備（ハードウェア）について付箋へ書き出していただきました
- 各テーブルで、皆様からそれぞれの付箋についてご説明いただき、飯田・リニア駅前広場のマップ図面に貼り付けていただきました
- 必要なハードウェアのアイデアとして、カフェ・レストラン施設・眺望台・EVカー充電ポート・水素ステーション・コワーキングスペース・全天候型施設等の様々なアイデアがありました

凡例 ：市民の立場からのアイデア ：事業者の立場からのアイデア



テーブル1



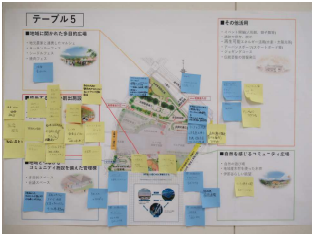
テーブル2



テーブル3



テーブル4



テーブル5



テーブル6

2025年度「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」の進め方について

- 飯田・リニア駅前広場プラットフォーム会議は、2025年度に3～4回の開催を予定しています
- また、2025年度からプラットフォーム会員を対象とした「ワーキンググループ（WG）」にて、駅前広場の整備に向けた個別検討・協議を実施していく予定です

皆さまのご参加をお待ちしております

飯田・リニア駅前広場プラットフォーム

-会員登録のご案内

- 「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」は会員を募集しております。既に企業・団体会員33団体※1、個人会員27名にご入会いただいております（2025年3月31日時点）
- 管理・運営事業体への参画にはプラットフォームへの会員登録が前提となる他、2025年度から実施を予定している事業者向けWGは会員登録していただいている方を対象にご案内させていただきます※2
- プラットフォームへの会員登録は、以下のフォームよりお願いいたします。皆さまのご登録をお待ちしております

1. 名称：
飯田・リニア駅前広場プラットフォーム
2. 目的：
市民や地元事業者等の多様な関係者が自由に参加し、飯田・リニア駅内での管理運営事業体の設立・運営に向けた議論の他、飯田・リニア駅を中心とした飯田・下伊那地域の活性化に寄与する取組の創出を促す「エコシステム」の形成を目指す
3. 会員：
本プラットフォームの目的に賛同する「個人会員」と「企業・団体会員」によって組織する
4. 年会費：
無料
5. 会員登録方法：
Google Formsからの登録 <https://forms.gle/6pc81JvsiMWJHe978>
6. その他：
具体の運営方法については決まり次第、ご案内
7. 事務局：
飯田市リニア推進部リニア整備課、株式会社NTTデータ経営研究所



※1：一つの企業・団体から複数人登録されている場合は、1企業・団体としてカウントしています

※2：「ながの電子申請」から第2回会議に参加手続きを実施いただいた方については、「登録を希望しない」にチェックを入れられた方を除き、会員として登録させていただいております